日本コミュニケーション学会・年次大会プログラム掲載要旨（「要旨」）およびプロシーディングス掲載原稿（「原稿」）執筆要領

第１条 （使用言語）

「要旨」・「原稿」執筆の使用言語は原則日本語または英語とする。執筆者の母語でない言語で書かれた「要旨」・「原稿」は、執筆者の責任において当該言語を母語とする者に校閲を受けた後に提出すること。

第２条 （形態）

ワードプロセッサーを用いて作成すること。和文、英文ともに横書きとすること。手書きは認めない。

第３条 （書式上の注意）

１）註は「原稿」の末尾にまとめ文末注として付け、脚注は用いない。

２）英文の引用文は原則として和訳を付けない。

３）外国の人名、地名、書名などは、少なくとも初出の箇所で原名を書く。

４）他の文献を参照及び引用する場合やデータを二次利用する場合には出典を明記する。捏造（存在しないデータ、研究結果等を作成すること）、改ざん（研究資料・機器・過程を変更する操作を行い、データ、研究活動によって得られた結果等を真正でないものに加工すること）、盗用（他の研究者のアイディア、分析・解析方法、データ、研究結果、論文又は用語を当該研究者の了解又は適切な表示なく流用すること）など研究活動において不正に当たることは行わない。（文部科学省『研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン』３．１（３）「対象とする不正行為（特定不正行為）」に基づく）

５）その他、図や表の表記法、引用の仕方、及び、参考文献一覧の作成方法等の書式の細部については、最新のMLAスタイル又はAPAスタイルに従うこと。

第４条 （体裁）

用紙は和文も英文もA4版とする。

１）用紙のマージンは左右25ミリ、上を20ミリ、下を30ミリとする。フォントは和文MS明朝、英文はTimes New Romanを用いる。タイトル・サブタイトルは14ポイント、それ以外は11ポイントとする。本文については、和文は1ページあたり38行、英文は1ページあたり30行とする。

２）タイトルおよびサブタイトルは14ポイントとし、本文と同じフォントを用いる。

３）「要旨」は和文800字以内、英文300語以内とする。「原稿」は和文3000字以内、英文1000語以内とし(文末注含む）、いずれもA4版縦置き・横書きで見開き2頁に収まる分量を目安とする。

第５条 （著作物の引用）

他の文献等より図・表などを転載する際には、掲載前に著作権者の了解を得ておくこと。その際には出典（著者名、書名・論文名、雑誌名、発行年、ページ、発行所・発行地）を引用箇所に示すこと。

第７条 （文献一覧）

「原稿」末尾の文献一覧には、本文中で直接・間接引用または出典引証された文献（すなわち引用文献）のみを含めること。論文作成に際し参照したが文中で引用のない文献（すなわち参考文献）は文献一覧に含めない。

第８条 （規則の改定）

この要領の改廃については、学術局が原案を作成し理事会で審議するものとする。